

自己点滅LED (フラッシャー) 使い方と応用例

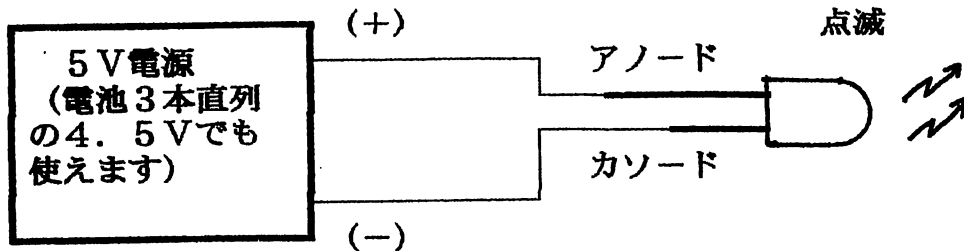
★この自己点滅LEDは、LEDの電流制限回路と点滅回路をLED内に内蔵しています。そのため、電源5Vに直接接続するだけで、約2ヘルツの周期で点滅します。

★電流制限回路を内蔵していますので通常のLEDをつないで点滅させる事ができます

■基本的な使い方■

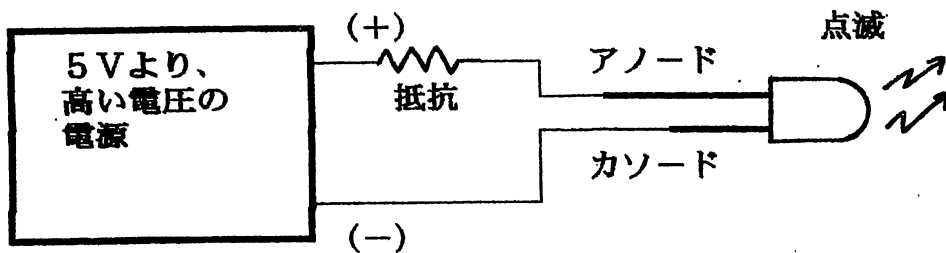
広い範囲 (120度±60度) で明るく使いやすい点めつ発光ダイオードです。

5V (+) にLEDのアノード (足の長い方)、5V (-) にLEDのカソード (足の短い方) を接続するだけで、ピカピカと点滅します。



■応用例①■

※1 5Vより高い電源電圧で使用する場合は、直列に抵抗を入れます。



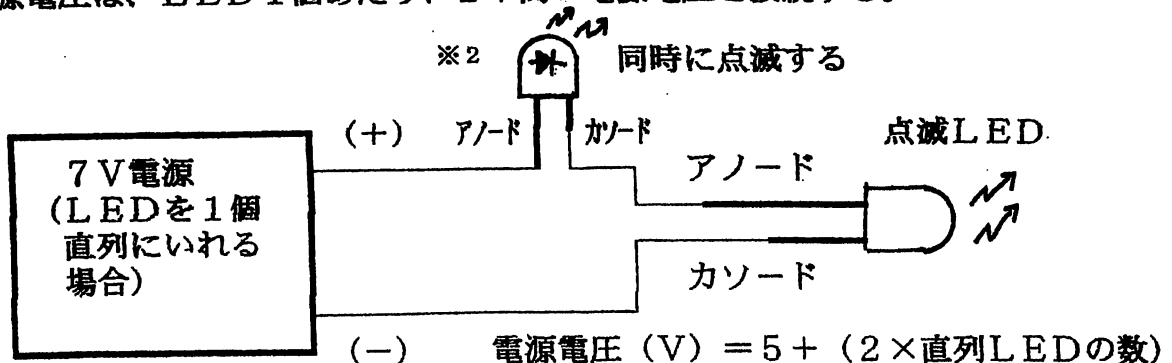
電源の電圧	抵抗値
9 V	200Ω
12 V	330Ω
15 V	510Ω

抵抗の計算式

$$\text{抵抗値} (\Omega) = \frac{\text{電源電圧 (V)} - 5}{0.02 (\text{電流値A})}$$

■応用例②■

通常の点滅しないLEDを直列に入れ、同時に点滅させる。
電源電圧は、LED 1個あたり、2V高い電源電圧を接続する。



※1 5Vより高い電源電圧でも、抵抗を入れなくても12V程度までは、動作し

ます。(点めつの時間がはやくなり不安定になります。抵抗を入れると一定

の点めつ時間で安定に動作します。

※2. 白色発光ダイオードなどが点めつしてとても便利です。